

スペイン音楽やアルベニスの第一人者 上原由記音による集大成の書!



アルベニス ✽ 生涯と作品

上原由記音・著 石田一志・監修

長きにわたるピアニストとしての
演奏活動と執筆活動で培った
知見を通し、アルベニスの生涯と
全作品を詳解!

著者プロフィール 上原由記音 (うえはら ゆきね)

ピアニスト、日本スペインピアノ音楽学会会長、琉球大学名誉教授。J・フェヴリエ氏、A・デ・ラローチャ女史に師事。スペイン政府文科省助成『粋と情熱スペイン・ピアノ作品への招待』(濱田滋郎監修)を刊行、同助成 CD『アルベニス作品集1~4』をリリース、全て『レコード芸術』誌特選。共和国政府招聘でのキューバ及びヨーロッパでリサイタル、レッスン、講座を行う。ハエン賞国際ピアノコンクール審査員。パリエコールノルマル音楽院審査員奨励賞を得て演奏家ライセンス修了。『イベリア』全曲リサイタル開催。日本スペインピアノ音楽学会は設立者でもある。

監修者プロフィール 石田一志 (いしだ かずし)

1946年東京生まれ。現在、一般社団法人ミュージック・ベンクラブ・ジャパン会長、一般財団法人東方学会学術委員。主要著書『シェーンベルクの旅路』(春秋社、芸術選奨文部大臣賞、ミュージック・ベンクラブ賞)、コープ『現代音楽』(共訳、春秋社)、『モダニズム変奏曲~東アジアの近現代音楽史』(湖北社、ミュージック・ベンクラブ賞)、『戦後日本音楽史(上下)』(共著、平凡社)など。元くらしき作陽大学音楽学部長、理事、教授。

